

## 自分の住んでいる地域が「浸水想定域」と考える人は24.0%

～ ハザードマップの「浸水想定域」で住民への意識調査を実施 ～

日本損害保険協会関東支部群馬損保会（会長：本谷 祐介・三井住友海上火災保険株式会社群馬支店長）では、ハザードマップ浸水想定域の住民を対象に、ハザードマップや防災意識に関するアンケート調査を実施しました。関東支部では、地域住民が自助・共助について考えるきっかけとしていただくために、2021年度と2024年度に防災に関する意識調査をしており、ハザードマップによるリスクの認識が、防災意識の向上や災害時の避難行動等に密接に結びついていることが判明しています。

そのうえで今回は、群馬県からの助言も得ながら、前橋市の洪水ハザードマップから利根川・桃ノ木川周辺の「浸水想定域」の町名を確認し、その郵便番号で抽出された地域のモニターに対して、インターネットによるアンケート調査を実施しました。

その結果、全体の26.4%の人がハザードマップを見たことがないと回答しています。また、ハザードマップを見たことがない人のうち、その理由として、「自分の地域は安全だと思うから」との回答が32.7%ありました。そして、自分の住んでいる地域が「浸水想定域」と認識している人の割合は24.0%にとどまり、こうしたことから、居住地域の災害リスク認識に課題があることが判明しました。

近年、気候変動等により雨の降り方が変化し、台風だけでなく、活発な積乱雲や線状降水帯の発生などによる災害のリスクが高まっています。よって、自分の住む地域ではこれまで災害がなかったことを理由に安心せず、災害を自分事としてとらえ、正しくリスクを把握し備えていくためにも、ハザードマップの更なる周知や理解促進の必要があると考えられます。

当支部では、本調査結果を踏まえて自治体等関係団体と連携し、引き続き防災・減災の取り組みを推進してまいります。

### 【調査概要】

調査目的：防災に関する住民意識を把握し、ハザードマップの普及・防災意識の向上を目指すこと

調査期間：2025年8月1日～2025年8月14日

調査方法：インターネット調査

調査対象：群馬県前橋市のハザードマップ浸水想定域町名（郵便番号）で抽出されたアンケートモニター

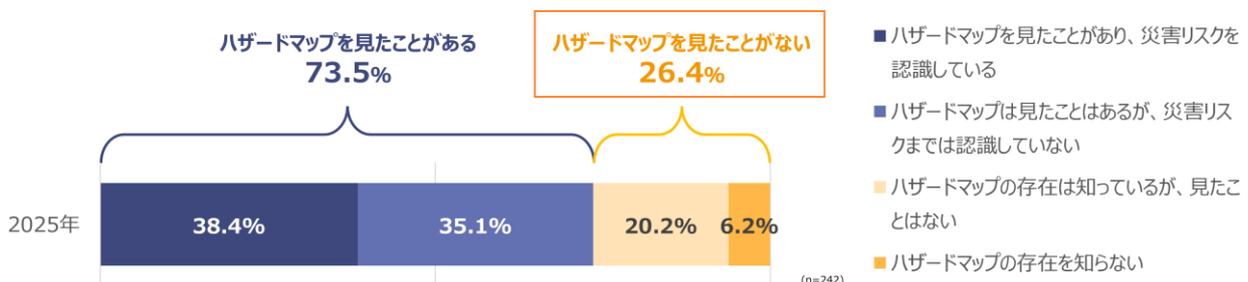
回答数：242名

### ■調査結果のポイント

#### 1. 4人に1人は、住んでいる地域のハザードマップを見たことがない

あなたの住んでいる地域の「洪水（水害）ハザードマップ」について、「見たことがあり、災害リスクを認識している」との回答は38.4%、「見たことがあるが災害リスクまでは認識していない」との回答は35.1%。一方で、「ハザードマップを見たことがない」との回答が20.2%、「ハザードマップの存在を知らない」との回答6.2%と合わせると、これまでにハザードマップを見たことがない人が、全体の26.4%となっている。

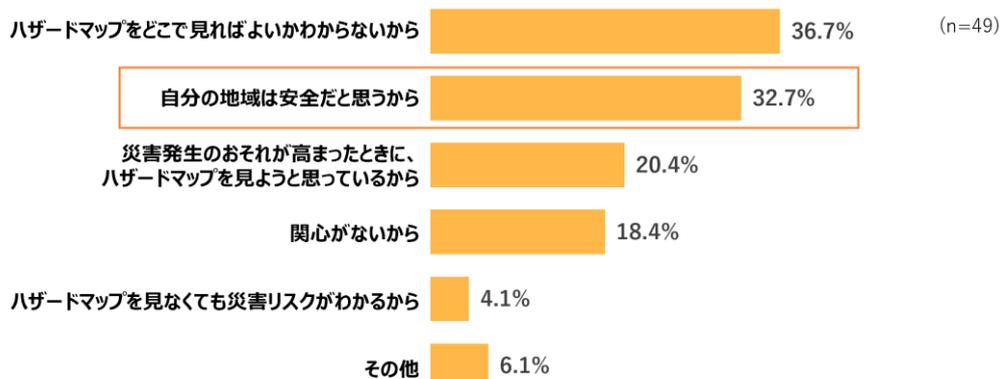
#### Q.あなたの住んでいる地域の「洪水（水害）ハザードマップ」を見たことがありますか？



## 2. ハザードマップを見たことのない理由のトップは「どこで見ればよいかわからない」、2位は「自分の地域は安全だと思うから」

ハザードマップを見たことがない理由として、「ハザードマップをどこで見ればよいかわからないから」との回答が36.7%、「自分の地域は安全だと思うから」が32.7%、「災害発生の恐れが高まったときに見ようと思っている」が20.4%と続いている。その他の回答では「見ようと思っているが見ていない」等の回答が複数あった。

### Q.ハザードマップを見たことがない理由は何ですか？



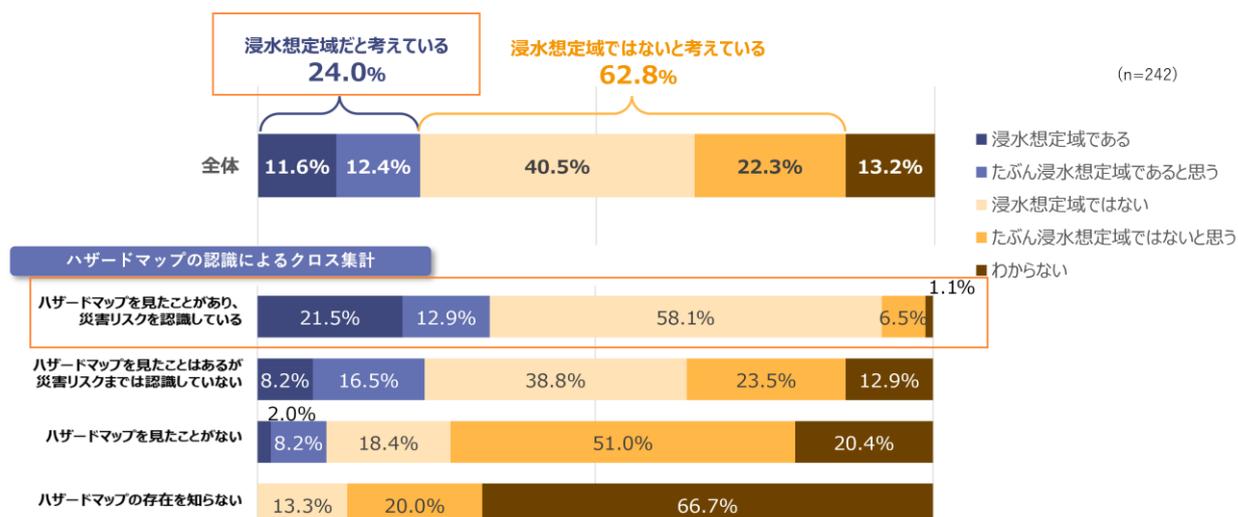
## 3. 自分の住む地域が「浸水想定域」だと考えている人は24.0%

自分の住んでいる地域が「浸水想定域」かどうかの問いに対して、「浸水想定域ではない」は40.5%、「たぶん浸水想定域でないと思う」は22.3%、「わからない」は13.2%となっており、逆に「浸水想定域である」は11.6%、「多分浸水想定域であると思う」は12.4%で合わせると24.0%にとどまり、「浸水想定域」だと考えている人の割合は、4分の1以下となっている。

ハザードマップの認識によるクロス集計で見ても、ハザードマップを見たことのある人の方が、見たことがない人に比べて「浸水想定域である」と思う割合は高いものの、一方で、「浸水想定域でない」と思う人の割合も6割以上と相当高く、ハザードマップの認識と居住地域の災害リスクの認識には隔たりがあり、ハザードマップを読み解けていないのでないかの疑問が残る結果となった。

### Q.あなたの住んでいる地域は浸水想定域（※）ですか？

(※) 浸水想定域とは「洪水や内水氾濫によって、土地や建物が水に覆われると推定される地域」のことです。



※調査結果は、端数を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

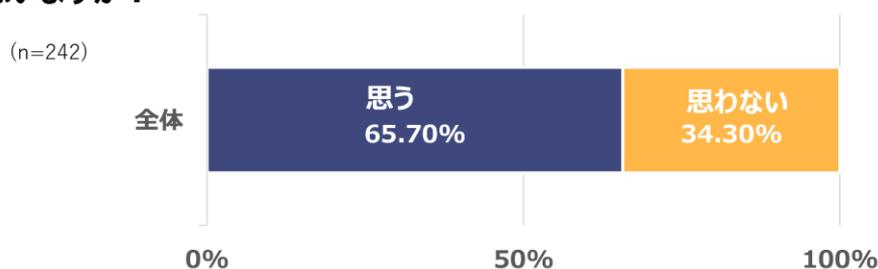
#### 4. 自治体が指定した避難所に避難しない理由の1位は「避難所での生活が不安だから」、2位は「自宅や車中泊の方が安全だから」

災害が起こった際、自治体が指定した災害時の避難所へ避難しようとする回答者は、65.7%、「思わない」との回答者は34.3%となっている。

災害が起こった際、自治体が指定した災害時の避難所へ避難しようと思わない理由の1位は、「避難所での生活が不安だから」(37.4%)、2位は「自宅や車中泊の方が安全だから」(36.1%)、3位は「自宅内で垂直避難しようと思うから」(31.3%)となっている。

避難所に避難しない理由や事情は様々あるが、自宅が安全とは限らない。避難所に行かない選択をする場合には、慌てずに命を守る行動がとれるよう日頃から避難方法を検討していただきたい。

#### Q. 「水害（洪水、浸水）」や「土砂災害」などの災害が起こった際、自治体が指定した避難所へ避難しようと思いませんか？



#### Q. 自治体が指定した避難所に避難しようと思わない理由を教えてください（複数回答可）



※調査結果の詳細は、【別紙】ハザードマップ浸水地域における意識調査結果 をご覧ください。

[https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2025/pdf/2509\\_02\\_chirashi.pdf](https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2025/pdf/2509_02_chirashi.pdf)